

成果指標				
成果指標	事業費割合(直接事業費÷営業収益×100)			
指標設定の考え方	事業費割合により、健全な運営状況の把握が可能のため。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	8	8	8	0
実績	11.3	12.7	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	施設の老朽化に伴い、機器の更新に莫大な費用が必要となってきたため、更新計画を立て適切に実施しなければならない。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	水源施設の維持管理費は、水源の規模や施設の経過年数によって異なるが、機器の更新に莫大な費用が必要となり、更新計画を立て適切に実施しなければならない。また、予算措置においても、修繕引当金等を検討して、毎年、平準的に支出する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題